

# No. 1405

## 第48回日本ダービー

# カツトップ2冠

競馬の祭典「第48回日本ダービー」(2400メートル)は5月31日、良馬場の東京競馬場に13万のファンを集め行われました。本命のない戦国ダービーといわれ、混戦が予想されましたが、レースは淡々とした流れのまま、直線の勝負へ。スタートから好位につけたカツトップエースが1番人気のサンエイソロンを鼻差ふり切って優勝。「さつき賞」に続き2冠を達成しました

# 天女の舞い

— 新 体 操 —

布や輪を巧みに操りながらリズムカルに美しく舞う。世界の一流選手を集めた'81年国際新体操が5月30、31の両日、国立代々木第二体育館で開かれました。新体操は日本では男女とも行われていますが、国際的には女子が主体。女子は、ロサンゼルス・オリンピックの正式種目にも決定しています。日本期待の山崎浩子選手。これまでの器械体操とちがってより美しく見せようとするだけに、見ていても大変楽しい新体操です。

# がけ崩れ防災

— 神 奈 川 ・ 横 須 賀 —

三浦半島独特の起伏のはげしい地形を見せる神奈川県横須賀市。この地域は地盤が弱いため、地震、大雨などによるがけ崩れの多発地帯で、市内の130箇所以上の区域が急傾斜地崩壊危険区域に指定されています。がけの近くに生活する市民はこれまで何回か危険な目にあってきました。昭和49年7月の台風8号は各地に集中豪雨の被害をもたらした。横須賀市内でも随所ではがけくずれが発生、死者13人を出した。それから7年崩れたがけは修復工事が行われ、安全が確保されました。息子を亡くしたというある被災者は当時の模様を「ドーンと音がして、家がかたむき、外に飛び出した。息子を助けようとしたがもうだめだった」と話します。こうした悲劇を繰り返さないよう建設省では6月1日から一週間を「がけ崩れ防災週間」とし危険箇所の徹底した点検に努めています。横須賀市でも市内の危険箇所の一斉点検を開始。小規模ながらがけ崩れの起きた危険区域。この様な区域では人命にかかわる災害に発展する可能性があるため点検は念入りに行われ、安全対策が講じられます。最近人口の集中による宅地不足のため危険ながけの近くに家が建てられることが多くなっています。恐しいがけ崩れによる災害から人命を守るため日頃から十分注意したいものです。